

ーアーティストとつくろう！ー

平成29年度「旅ムサスティ in 大山ワークショップ」講師：旅するムサビ（東京都小平市）

日時：2017年8月24日（木）13：30～15：00

会場：大山町立中山みどりの森保育園

対象：幼児（年長5歳児）28名、一般8名（計）36名

講師：旅するムサビ 武蔵野美術大学 学生 9名

中山みどりの森保育園の年長児28名を対象に、「旅するムサビ」で大山町に滞在する学生が講師となり、紙コップ10000個を使用したワークショップを行った。思い思いに紙コップを手に取り、並べたり、積み上げたりして楽しんだ後、その紙コップの間に様々なライトを設置した。ライトを設置する間に、子どもたちは、紙コップ1個に自分の顔を描き、最後にその紙コップを「自分の住みたいところに置いてみよう！」というかけ声で気に入った場所に置いた。活動の振り返りの時間には、子どもたちが盛んに手を挙げて発表する姿があり、学生は、子どもたち一人一人のことばや気持ちを丁寧に聞き取っていた。



紙コップを積み上げたりつなげたりして町をつくる



会場を暗くして町に明かりをともし、住みたい場所を探す

「旅ムサ」＝「旅するムサビ」とは

武蔵野美術大学 教授 三澤一実（みさわ・かずみ）氏が中心となり、学生数名が国内外の学校や地域を訪れ、多様な美術に出会う場を提供することを目的に続けている活動。

ーアーティストとつくろう！ー

平成30年度「旅ムサスティ～黒板ジャック～」講師：旅するムサビ（東京都小平市）

日時：2018年7月23日（月）、8月27日（月）

会場：鳥取市立面影小学校 7教室

講師：武蔵野美術大学「旅ムサスティ in 鳥取」参加学生 7名

対象：児童 422名、教員20名、県内教育関係者10名（計）452名

武蔵野美術大学の社会連携事業「旅ムサ」と当館との連携事業として、鳥取市立面影小学校を会場に「旅ムサスティ in 鳥取・黒板ジャック」を行った。「黒板ジャック」は、普段見慣れた教室の黒板を美術大学の学生がジャックし、チョークで絵画を描くことによって全く違う表情に変貌させるもので、日常の場面に質の高いアートを持ち込み、児童に驚きと感動を味わわせることができる。学生が一日がかりで描いた黒板アートに、夏休み明けに登校してきた全校児童は驚きとうれしさでいっぱいの様子だった。その後、全校集会で学生からのビデオメッセージが流された。



30度を超える夏休み中の教室で一日かけて描いた満富の海



夏休み明けの朝、教室の黒板にびっくり！

「旅ムサ」＝「旅するムサビ」とは

武蔵野美術大学 教授 三澤一実（みさわ・かずみ）氏が中心となり、学生数名が国内外の学校や地域を訪れ、多様な美術に出会う場を提供することを目的に続けている活動。

ーアーティストとつくろう！ー

平成30年度「焼き物の茶碗をつくる」講師：鳥取 因幡焼 三木健太郎氏（鳥取市在住）

日時：2018年12月3日（月）、10日（月）

会場：鳥取市立宮ノ下小学校

対象：第5学年2クラス（計）63名

子どもたちと三木さんの出会いは、焼きものに興味をもったきっかけや、作家になるまで、なっぴからなどのお話を聞くことから始まった。「アーティストと出会う」こと自体も貴重な体験だと考えるこの事業にはキャリア教育的な意味合いもある。2回目に、作家から粘土を手渡された子どもたちは、そのひんやりとした感触や重さを感じながら、ご飯茶碗を制作した。乾燥・焼成を経て、2か月後に戻ってきたお茶碗に、子どもたちの満足気な表情が印象的だった。



手びねりで作ったお茶碗に絵付けをする



ーアーティストとつくろう！（展覧会開催）ー

平成30年度「旅するムサビと子どもたち展ーギャラリー330」

会期：2019年3月9日（日）～17日（日）

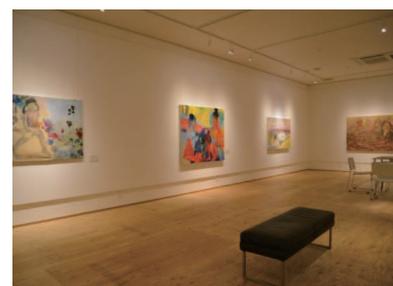
会場：ギャラリー330（鳥取市丸山町）

展示作品：「旅ムサ in 大山」参加学生の作品7点、小学2年生制作「黒板アート」

当館では、館外普及事業の一環として武蔵野美術大学と連携し、「旅するムサビ」で来鳥した学生による「黒板ジャック」や学生の作品による対話型鑑賞などを開催している。本展覧会では、「旅するムサビ」で鳥取に滞在する中でスケッチ等を行い、それをもとに大学に帰って制作した学生の作品7点を紹介するとともに、小学2年生の男の子「チビムサビ」が「黒板ジャック」に触発されて制作した黒板アートを紹介した。会場には、担任の先生によって撮影された「黒板を発見した子どもたちの驚く表情」や「黒板アートの写真」なども展示した。

「旅ムサ」＝「旅するムサビ」とは

武蔵野美術大学教授 三澤一実（みさわ・かずみ）氏が中心となり、学生数名が国内外の学校や地域を訪れ、多様な美術に出会う場を提供することを目的に続けている活動。



展覧会場風景

5

ーアーティストとつくろう！ー

令和元年度 「手びねりでお茶碗をつくろう」 講師：鳥取 因幡焼 三木健太郎氏（鳥取市在住）

日時：2019年6月27日（木）10:35－12:00 第5学年、第6学年合同

6月28日（金） 8:35－10:00 第6学年 15名

10:35－12:00 第5学年 14名

9月12日（木）10:35－12:00 第5学年、第6学年合同

会場：鳥取市立散岐小学校

対象：第5学年、第6学年（計）29名

3日間、3工程で実施した。第一日目は、作家から陶芸家を目指すようになったきっかけや、なるまでの苦労などを聞き、二日目は手びねりでお茶碗をつくり絵付けをした。約2か月後となった三日目は焼成され完成した茶碗を受け取り、窯から出したばかりのお茶碗の特徴などを聞いた。自作のお茶碗を大切に扱う子どもたちの姿が印象的だった。



陶芸家になろうと思ったきっかけやなるまでの苦労などを聞く



焼きあがったお茶碗をそっと持ってみる

6

ーアーティストとつくろう！ー

令和元年度 「自分の好きなこと～粘土を使った立体作品」 講師：細川佳成氏（洋画家）（鳥取市在住）

日時：2019年8月22日（木）、11月7日（木）、11月15日（金）

会場：溝口中学校 美術室

対象：溝口中学校 美術部 9名

美術科担当の教員がいないため、美術部の普段の活動はアニメーションを描くなど、個人的な活動になってしまっているという実情から、美術部顧問の先生より「アーティストとつくろう！」に申し込みがあった。そこで、「自分の好きなこと」をテーマに、紙粘土を使って立体作品を制作した。生徒は、コンサートに行くことが好き、寝ることが好き、音楽が好き等自分の好きなことをもとに、どうしたら見る人に「好き」が伝わるかを考えながら楽しそうに制作していた。



針金で作った形に紙粘土で肉づけをする